

平成29年度

# 明照保育園 公開保育

平成29年7月28日（金）



～幼年期教育研究委員会・参観と語る会～



あついな～♪

社会福祉法人 明照保育園

幼保連携型こども園 明照保育園

明照児童クラブ

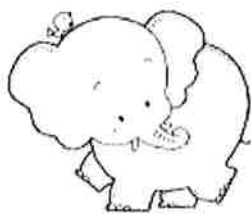
## ★目次★

- p 1 本園の概要（地域に向けて）
- p 2 園内配置&活動 Map  
クラスの様子&指導案
- p 3 0歳児（あか組）
- p 5 1歳児（そら組）
- p 7 2歳児（ゆき組）
- p 9 3歳児（ほし組）
- p 11 4歳児（はな組）
- p 14 5歳児（つき組）
- p 17 児童クラブ（第1・2・3）

## 資料

- p 18 明照保育園 保育・教育課程  
明照ホームページ  
子育て支援だより  
無料学習支援・子ども食堂

社会福祉法人



めいしょうほいくえん  
明照保育園



幼保連携型認定こども園 明照保育園

〒441-8093 豊橋市牟呂中村町6-1

Tel 31-1419 Fax 31-1499

http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm

理事長 & 園長 中島 章裕

かわいいことは、  
ホームページに  
たくさんアップせ  
てね!

見学どうぞ  
(連絡してね!)

保育のねらい・大切にしていること

『心身ともにたくましく、思いやりのある子ども』

★豊かな感性と心情、まわりのものへの関心や意欲、  
人との温かい関わり合いの中で生きていく姿勢を育みたいと思います。★

【養護】

ひとりひとりの個性を見つめ、  
情緒の安定を図り、温もりのある  
保育をします。

【生活・遊び】

生活リズムを大切に、自己活動と、友だちと  
協調できる活動を、生活や遊びを通して  
総合的に経験するようにしています。

【文化的活動】

個々の特性に応じながら、発達課題を  
配慮していろいろな体験ができる  
環境を整えます。

◇小学校区 主に牟呂小学校と冨田小学校

◇定員 285名(1号15名含む)

◇職員状況 園長・副園長 各1名

◇園児数(H29.7.1現在)

主幹保育教諭 1名 保育教諭 49名  
調理員 7名 事務員等 1名

年齢	0	1	2	3	4	5	合計
人数	11	41	41	52	56	54	255

◇基本保育時間 平日 8:00~16:00  
土曜日 8:00~12:00

延長保育 平日 7:00~19:00  
土曜日 7:00~12:00

◇施設について(敷地面積 1,615.17㎡)

園舎 鉄筋コンクリート造3階建 延べ 1,876.75㎡

◇一年の行事・保育・家庭との交流

4	◎入園式 ○始業式 ◎家庭訪問 ◎総会
5	◎親子遠足 ◎保育参加(学年ごと) ○内科健診 ○歯科健診
6	◎フリーマーケット ◎個人懇談会
7	○七夕会 ○年長児宿泊保育
8	◎夕涼み会 ○夏季保育
9	◎祖父母のつどい
10	◎園内運動会 ○内科健診 ○いもほり・焼きいもパーティー
1	◎明照まつり(ハザ-) ○七五三宮参り ◎年長児あわかれ遠足
12	◎作品展 ○クリスマス会 ○もちつき
1	○おめでとう会 ○保育参加
2	○節分豆まき(園内・校区交流)
3	◎遊戯会 ◎卒園児保護者会と三世代交流会 ○お別れ会 ○お茶会 ◎卒園式 ○修了式

が保育に参加するなかよし保育を行っています。  
・身体測定・誕生会・避難訓練・交通安全指導(毎月)  
・検便と検尿(年1回)・健康診断(年2回)・歯科健診  
◎印は、ご家庭の方も参加する行事です。  
・定期的には、園のバスで園外保育に出かけます。  
・未入園児家庭を対象に定期的に、年齢ごとの『親子  
ひろば』と園庭開放を順番に行っています。  
・月1回土曜日に、小学生以上の子どもや地域の大人

◇保護者との連絡・交流

- ・園だより(学年だより) ・保健だより
- ・献立表 ・早起きカレンダー
- ・お知らせ文&メールの配布(掲示)
- ・送迎時の懇談 ・個人懇談会
- ・“お知らせくん”…クラスの毎日の保育の様子を、その日のうちに保護者の携帯電話に配信します

◇家庭との交流

- ・映像による園だより『明照げんきっ子ビデオ』(無料貸出)
- ・四季折々の行事 ・育児相談 など

◇食物アレルギーについて

- ・医師の指導の下、除去食・代替食等で対応しています

◇入園時の諸経費

- ・園服園帽 ・保育教材 等

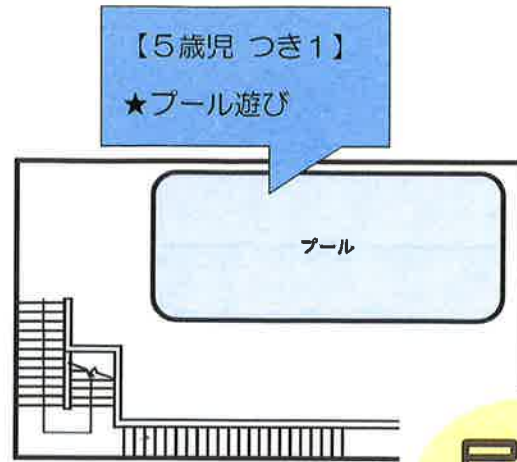
◇特別保育の実施状況

- ・時間延長保育 ・子育て支援事業

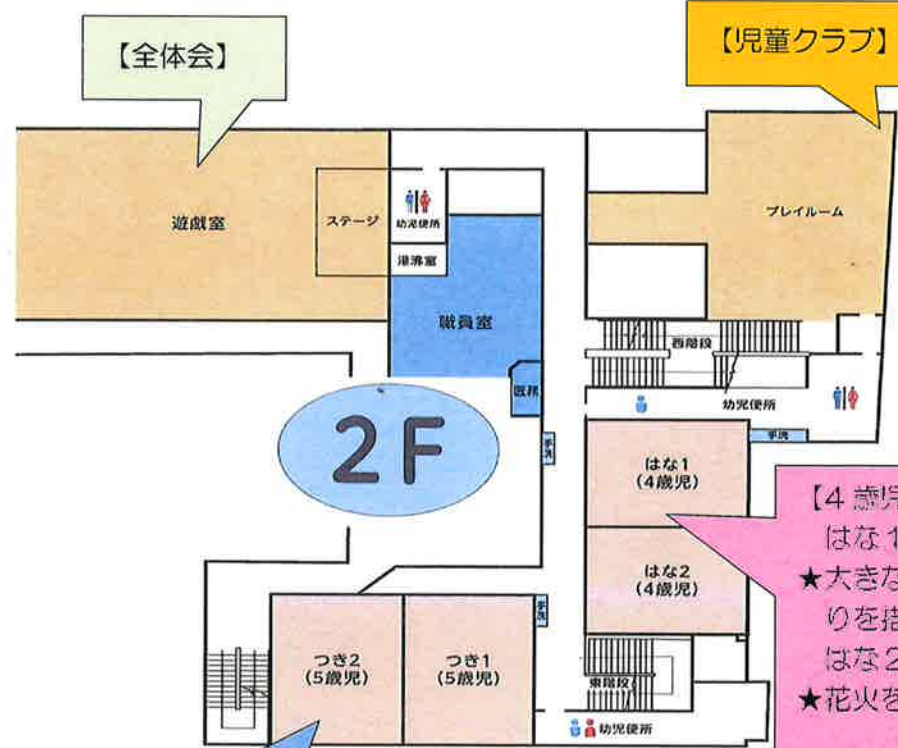
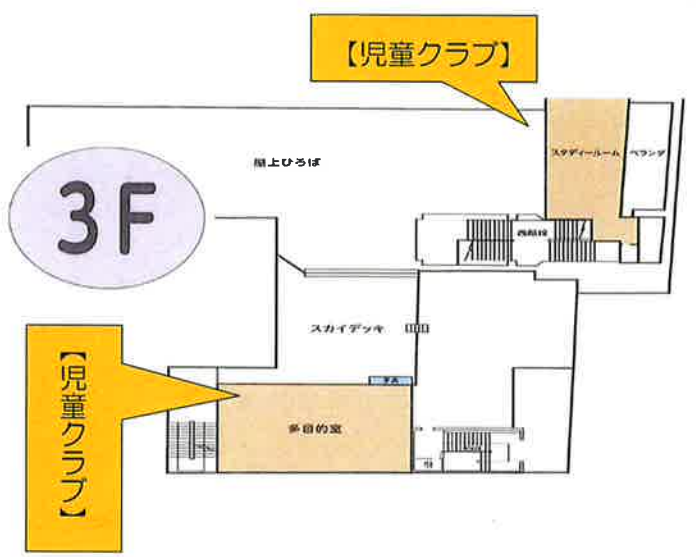
◇通園バス なし(園外保育用のみ)

赤ちゃんから年長さんまでが集う保育園に、下校後の児童クラブも併設され、集団ならではの良さを生かし、『みんなでいる楽しさ』を経験する場を大切にしています。また、未就園児家庭への子育て支援も積極的に行い、生活リズムや食育などの情報提供を行っています。ご家族の方との交流はもちろん、地域や小中学校との温かいかわりの中で、文化を大切にしつつ、四季折々の保育をすすめています。運動面、絵画造形面、食育の面等から子どもの成長を支えられるよう、職員全員で連携をし、一人ひとりの豊かな成長を見つめていきたいと思っています。

# 保育活動マップ



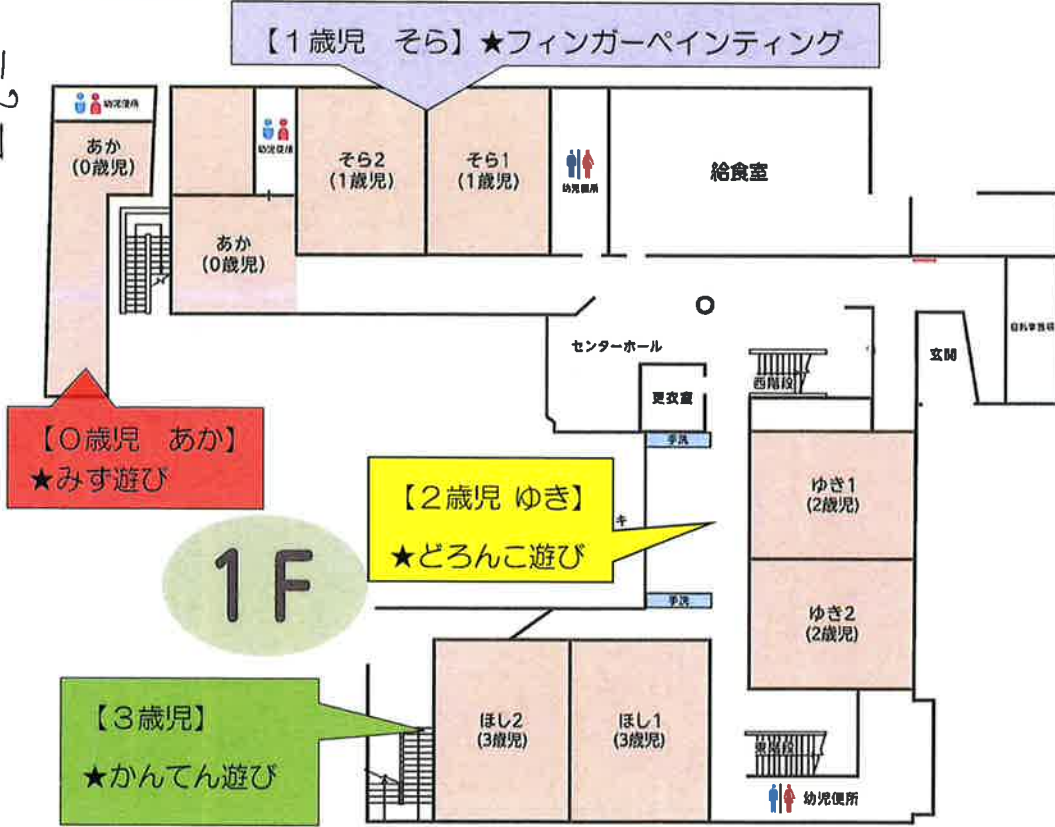
屋上



【4歳児】  
はな1  
★大きなひまわりを描こう  
はな2  
★花火を作ろう

【5歳児 つき2】  
★廃材で工作

-2-





## 【0歳児】 あか 10名（男 5、女 5）

### <1年のテーマ「のんびりのびのび おおきくなあれ」>

ゆったりとした雰囲気の中で安心して過ごし、一人一人の発達に合わせた援助をすることで、子どもが持つ力を発揮し、成長できるようにする。家庭と手を取り合い、協力して子どもの育ちを支えていく。

- よく食べ、よく遊び、よく眠るというリズムを大切に、家庭での生活リズムと保育園の成果うリズムを無理のないように整えていく。
- 子どもが表す小さなサインを見逃さず、思いにこたえていくことで、愛着関係を築き、人への信頼感をはぐくんでいく。
- 早朝、延長保育になる子が多いため、連絡ノートでのやり取りを通して、保護者が安心できるような環境を作るように心がけている。保護者一人一人の戸惑いや不安、喜びに共感しながら子どもの成長を伝えあい、喜び合っている。
- 離乳食の時期であるため、一人一人に合わせた調理の仕方に対応している。入園前に「食べ物しらべ」を配布し、食べられるようになったものに〇つけてもらい提出してもらっている。月に1度「食べ物しらべ」を家庭に持ち帰り再度確認してもらい、保育園での食べる様子を伝えていくことで、連携して進めている。

### <4月からの成長>

- 一人一人の生活リズムや発達段階に合わせた関わりの中、保育者との信頼関係ができ、安心して過ごす姿が見られる。毎月、新入児がいる環境の中で、継続児とのスキンシップを多くとり、情緒の安定を図るようにしている。
- 入園当初は泣いて表現することが多かったが、その思いを言葉で表して受け止めていくことで、表情も豊かになり、態度や声、喃語など様々な方法で表現するようになってきた。
- 生活リズムが整い、機嫌よく過ごし興味のあるものに自ら関わろうとする姿が見られる。
- 生活の中で毎日繰り返して行っている、朝や帰りの挨拶や食前食後の挨拶をまねて、手を合わせたりする姿が見られ、歌や手遊びに合わせて体を動かして楽しむようになってきた。
- 入園当初は食べさせてもらうことが多かったが、給食室と連携し、手づかみ食べしやすい大きさや調理方にしてもらい、手づかみで自分で食べることを大切にしてきた。手づかみで食べることを十分行うことでスプーンに興味を持つようになってきた。今後も自分で食べたという満足感を感じられるようにしていく。
- 安心できる環境でたくさん体を動かして遊べるようになり、ずりばいからははいはい、つかまり立ちから一人歩きと一人ひとりの発達が見られ、自分なりの移動手段でお気に入りの場所や友達や保育者のいるところに移動したり、探索活動をしたりして楽しんでいる。
- 朝や帰りの自由遊びの時間には、年長児が遊びにきている。優しく遊んでもらい、元気に遊ぶ年長児を見るのも刺激があるようで、年長児が遊びに来ると嬉しそうな表情で関わろうとしている。
- 砂遊びや絵の具遊びや水遊びなど、経験を重ねていくことで一人一人の遊び方で楽しめるようになってきている。それぞれの遊び方を大切にしながら、新しい遊びに誘いかけていき、好奇心ややってみいたいという気持ちを育てていく。



おにいさん、  
おねえさん、  
だ〜いすき



自分で食べると  
おいしいね。

<本日のねらい>

- ・保育者と一緒に水遊びを楽しむ。
- ・保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ。

主活動 水あそび・室内遊び			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:45	<p>&lt;場所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室横テラス</li> <li>・保育室（ひよこ）</li> </ul> <p>&lt;準備するもの&gt;</p> <p>☆水遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニールプール</li> <li>・たらい</li> <li>・水遊び用玩具（じょうろ・バケツ・ペットボトル・スポンジ）</li> <li>・お湯</li> <li>・足ふきマット</li> </ul> <p>☆室内遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイマット</li> <li>・ボールプール</li> </ul>	<p>○保育者の近くに座り、保育者と一緒に手遊びや歌を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の歌に合わせて体を動かして楽しむ。</li> <li>・順番に水着に着替え、テラスで体をお湯で流す。</li> </ul> <p>○水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニールプールや皿に入って遊ぶ。</li> <li>・玩具に興味を示し、手に取って遊ぶ子もいる。</li> <li>・手でばちゃばちゃと水をたたいて楽しむ。</li> <li>・保育者の顔を見たり、喃語で話したりする。</li> </ul> <p>○水遊びができない子は保育室で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイマットにはいはいで上ったり下りたりして遊ぶ。</li> <li>・ボールプールに入ってボールを握ったりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に歌を歌ったり手遊びをして、<u>水遊びを楽しみにできるようにしながら</u>、水遊びの着替えをする。</li> <li>・複数担任で連携を取り、着替え、水遊び、水遊びをしない子のそばにつき、子どもが<u>安心して活動に参加できるようにする</u>。</li> <li>・「きもちいいね」と声をかけながら優しくお湯をかけて流し、<u>安心して水遊びができるようにする</u>。</li> <li>・遊びながら楽しく水に触れることで、自然と水に親しめるようにする。</li> <li>・保育者も表情豊かに楽しそうに水に触れ、「きもちいいね。」「じゃー」「ばちゃばちゃ」と言葉を添え、水の感触を味わえるようにする。</li> <li>・子どもの<u>小さなサインを見逃さず、やさしく見つめたり、微笑んだり、言葉で応答していく</u>。</li> <li>・<u>一人一人の好きな玩具や遊び方を大切にしながら、いろいろな遊びに興味を持てるよう</u>、子どもの様子を見ながら誘いかけていく。</li> </ul>
10:15	<p>○十分体を動かせるようスペースを広く取る。</p>	<p>○水遊びをした子は体をお湯で流す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体をふき、服を着る。</li> </ul> <p>○水分補給。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶を飲む。</li> <li>・保育室でゆっくりと遊ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「きもちよかったね」と優しく言葉をかけ、着替えをし、水分補給をすることで、気持ちよさを感じられるようにする。</li> <li>・着替え、水分補給、玩具で遊ぶ子それぞれに保育者がつくよう連携をとり、子どもが<u>安心できるようにする</u>。</li> </ul>
10:55		<p>○片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者のまねをして、ボールを袋に入れて片付けようとする子もいる。</li> <li>・玩具を片付け、畳に集まり保育者のそばに座る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が楽しそうに片付けることで、子どもが<u>やってみたいと思えるようにしていく</u>。</li> <li>・「たのしかったね」「またあそぼうね」と言葉で伝え共感し、<u>満足感につなげていく</u>。</li> </ul>

【1歳児】 そら1組 20名(男11、女9) そら2組 21名(男11、女10)

〈1年のテーマ “手のひらを そらに \*” ~どんなそらが見えるかな~〉

- 歩き始めから、歩く、走る、とぶという基本的な運動機能や つまむ、めくる、やぶく、まるめる、描くなど指先の機能が発達していく時期であり、子どもの発達に合った様々なあそびや、経験が保育者や友だちと一緒にできる環境を整え、取り組もうとする意欲がもてるようにする。
- 自分でやろうとする気持ちが芽生えてくるので、主体性や好奇心を尊重しつつ、その行動を温かく見守り、「出来たね」、「大丈夫だよ」など励ましたり、手を添えたりしながら、自分でやれたという満足感を味わい、自立心を育てていくようにする。
- 言葉の発語も見られ、先生を呼んだり、「いや」「まんま」などの片言や一語文が出たり、ことばで言い表せないことは、指さしや身振りなどで示し、自分の気持ちを伝えようとする時期なので、保育者は言葉にして返したり、応答的なかわりをしていく。また、友だちへの関心も芽生えてきてくるので、子ども同士のかかわりも育てていく。
- 早朝、延長保育と、園で長い時間過ごす子どもが多く、送迎時だけでなく、連絡ノート、メールなどを通して、保護者と連絡を密にとり、信頼関係を築きながら、子どもの成長や発達の喜びを共に味わっていくことを大切にしている。

〈4月からの成長〉

- ・生活の流れやリズムにも慣れ、自分の思いを友だちや保育者にことばや、表情、行動で伝えようとする姿や、友だちを意識しながら、遊びを真似したり、触れ合う姿も見られる。
- ・食事においては、自分で食べる喜びが感じられ、様々な味に親しんだり、進んで食べようとし、食器についたおかずやごはんを「あつめて」と伝え、きれいに食べることが出来た食器を見せながら、うれしそうな表情や「おかわり」「おいしいね」などと言葉を発して、保育者や子ども同士で共感している。
- ・クレヨン、粘土、絵の具、フィンガーペインティングなどのせいさくあそびを通して、様々な画材や素材に触れ、感覚や表現を楽しんでいる。
- ・ひとり遊びを楽しんだり、また友だちや保育者と一緒に絵本やお話を興味深く見たり、手遊び、リズム遊びなどを楽しんで、「もう一回」と繰り返し楽しむ姿がある。



その手を上に~♪  
キラキラ☆ミ

絵の具ペタペタ楽しいね♥



スプーンを使っておいしいね(\*~\*)

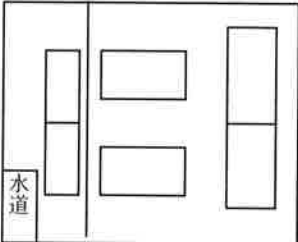


あゆみノートにシールを貼ろう★

<本日のねらい>

- 手や指先を使って絵の具で塗ることで感覚を楽しむ。
- フィンガーペインティングを保育者や友だちと一緒にすることで楽しい気持ちや感覚を共有し、やりとりを楽しむ。

○本日の活動：フィンガーペインティング

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:50	<p>〈場所：保育室〉</p> 	<p>○手あそびをする。</p> <p>○保育者が紙皿にカニの目や手足を貼る姿を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「カニ！」などと言いながら指をさすなどの反応をする。</li> <li>• 保育者がフィンガーペインティングをする様子を見て、「あ！」声を発したり立ち上がったたりして、興味を示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手あそびをし、これから始まる活動に興味を持てるようにする。</li> <li>• 「カニさんの目はここだね」などと伝えながら、紙皿に目や手足を貼っていく。</li> <li>• 実際に、保育者が紙皿の上でフィンガーペインティングをし、絵の具を指で触り、絵の具の色が混ざる様子を見せることで、子どもたちの興味や意欲を引き出す。</li> </ul>
9:55	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 絵の具（赤、黄、オレンジ）</li> <li>• 手拭き</li> </ul>	<p>○紙皿に目や手足を貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 上手く剥がせない子もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個々に応じて手を添えたり剥がしたりしやすいようにしておくことで、両面テープを剥がす経験が出来るようにする。</li> </ul>
10:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 出来た子からフィンガーペインティングをする机に移動していく。</li> </ul>	<p>○紙皿にフィンガーペインティングをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>絵の具の色を選ぶ。</u></li> <li>• 手や指に絵の具が付くことや、絵の具の感触に慣れず、手に入ってしまう子がいる。</li> <li>• <u>絵の具に興味を持って、自分から絵の具に触ろうとする子や、付いた色を見て嬉しそうにする姿が見られる。</u></li> <li>• <u>手につく絵の具に驚きながらも、感覚をすこしずつ味わおうとする。</u></li> <li>• 出来た子から手を洗う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育者が一緒に行ってみたり手を添えたりすることで、無理なく絵の具に触れ、少しずつ絵の具の感触に楽しめるようにする。</li> <li>• 「楽しいね」「綺麗な色だね」などと声を掛け、保育者や友だちと言葉のやりとりを楽しみながら感触や楽しい気持ちを共有し、<u>絵の具の感触や色が混ざることの面白さを感じられるようにする。</u></li> </ul>
10:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手拭きで軽く拭き取り、<u>取りきれない絵の具は手洗い場で洗い流す。</u></li> <li>• <u>壁面を海に見立て、完成したカニを飾る。（テープ）</u></li> </ul>	<p>○完成したカニを飾る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>自分が作ったカニを見て指を差して嬉しそうにする子がいる。</u></li> <li>• <u>保育者の言葉を聞いたり壁面を見たりして、余韻に浸りながら活動を終える。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手が綺麗になった気持ちよさが感じられるようにする。</li> <li>• 出来たカニを壁面に飾り、自分が作った作品や友だちが作った作品を見られるようにし、「カニさんできたね！」などと声を掛けながら楽しい気持ちで終わり、達成感に繋げていく。</li> </ul>



## 【2歳児】 ゆき1組 21名（男8人、女13人）、ゆき2組 21名（男9人、女12人）

### <1年のテーマ “ わくわく・いきいき・のびのび ” >

- **わくわく** …身の回りのいろいろなことに「あれ?」「なんでかな?」と、気づいたり興味をもったりし、関心のあることがたくさんもてるような毎日に…。
- **いきいき** …わくわく感をさらに膨らませて「やってみたい!」「おもしろそう!」「できた!」と、意欲で瞳や心がいきいきと輝くような子どもに…。
- **のびのび** …好きなことに夢中になったり、まわりの楽しさや雰囲気を感じたりし、友達と過ごすなかで自分なりにのびのびと表現できる子どもに…。
- 相手に伝える表現ひとつでも、スキンシップ、表情、動き、言葉、創作…それぞれに得意不得意はあると思うが、試す前から苦手と思わずに、チャレンジ精神を持って子ども・保護者・保育者がそれぞれに育ちあっているような環境作りを大切にしていく。

### <4月からの成長>

- 4月から毎朝の身支度を自分でできるよう保護者や保育者と一緒に練習し、今では、通園カバンから手拭きタオル・口拭き・出席ノート類を自分で取り出し、それぞれの整頓カゴに向きを揃えて入れようとする姿が見られている。安全面の作りから掛け方が難しいタオルフックにも、タオルの輪を引っかけようと真剣なまなざしで頑張る姿が頼もしい毎日である。
- 7月からは、朝、園庭側の門の前で保護者に見送られて降車するドライブスルーでの受け入れを開始し、ひとりで昇降口まで歩いて「おはようございます!」と、元気に挨拶をしながら登園する姿も見られる。
- 布パンツを使いたいという意欲を引き出したり、トイレで排泄できたという喜びから自信につなげたりすることを大切にし、夏を迎える前に全ての子が布パンツでの生活に切り替わり、日中の園生活をパンツで過ごしている。(送迎に近い朝夕の時間帯では、紙おむつと布パンツどちらを使用するかを一覧表にして保護者と相互協力できるよう配慮している。)
- 身近な自然や様々な素材に触れ関心を持ち、全身を使って遊ぶ経験をすることで五感を育てたり、友だちと遊ぶ楽しさの芽生えやきっかけを積み重ねたりしている。
- 1～2組の保育室を行き来しながら、気の合う友達と同じ空間で見立て遊びをしたり、簡単な言葉のやりとりをしたりすることを楽しむ姿が見られる。
- おもちゃを1人で使ってじっくり遊んできた様子が、だんだんと友達との関わりに広がり、友達と大きさを比べたり組み合わせたりし、「友達と一緒にいると楽しい」と、気づき始めている。それと同時に、思いの違いが生じる場面では、自分の思いを態度ではなく言葉で相手に伝える方法を日々の経験のなかで学んでいる。
- 隣の年少児クラスの食育活動を見学したり、給食と一緒に食べたりするなかで、食前食後のお手伝いにも興味を持ち始め、座席に合わせて食器を並べたり、使った食器をトレイに載せてバランスをとりながら運んだりしている。失敗することもあるが「じぶんでやりたい!」と、意欲的に参加する気持ちを大切にしている。



もうすぐ順番だね!



おやつはトウモロコシだよ



水や泥で遊ぶと気持ちいいね♪



<本時のねらい>

- ・楽しい雰囲気の中で友だちや保育者と一緒に全身を使い、泥の感触を楽しむ。
- ・さまざまな道具を使い、見立てあそびを楽しむ。

主活動 「どろんこあそび」			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:40	(場所) 保育室 ・事前に水を撒いておく 《準備するもの》 ・どろんこ用のパンツ ・どろんこ用の帽子	○どろんこ遊びの支度をする。 ・自分の脱いだ衣類をたたみ、プールバックの中にしまい、どろんこ用パンツに履き替える。  ・どろんこ遊びが始まるのを <u>楽しみにする</u> 。	・衣類を丁寧にたたんでから、プールバックにしまうように声を掛ける。 ・自分で支度ができるところまで見届けながら難しいところは援助していく。 ・どろんこ遊びに期待が持てるように言葉かけや導入をしていく。
10:00	(場所) 園庭 《準備するもの》 ・ホース ・バケツ ・さまざまな容器	○どろんこ遊びをする。 ・泥や水たまりに触ったり、手足に塗るなど <u>様々な感触を楽しむ</u> 。 ・泥んこ遊びに抵抗があり、遊びに入れず、 <u>保育者や友だちの様子を見ている子</u> もいる。 ・「冷たいね～」 「どろどろしてるね～」など <u>友だちや保育者と会話を</u> する。 ・自分や友だちの体に泥をつけたり、水たまりの中に寝転ぶなど思い思いに <u>全身で泥遊びを楽しむ</u> 。 ・泥を集めて山や団子を作って遊ぶ。 ・バケツや型に泥を入れ、プリンやケーキなどを作って、見立てあそびをする。	・保育者が率先して泥を手や足に塗り、大胆に楽しめるようなきっかけづくりをする。 ・苦手な子に対しては、個人的に関わりながら少しずつ泥に触ることができるように無理なく誘いかけていく。 ・泥の感触を知り、 <u>保育者や友だちと気持ちを共感しながら楽しい雰囲気の中で遊ぶ</u> ことができるような環境づくりを工夫する。 ・子どもたちの <u>遊びたいという意欲をより引き出して</u> いけるように、保育者がそれぞれの子どもの楽しさにより添えるよう分担する。  ・道具を使った遊びの楽しさを保育者が見せることで、 <u>少しずつ遊びが発展していく</u> ようにする。
10:30	《準備するもの》 ・使った道具を入れるかご ・パンツを入れるバケツ ・足ふきマット(タオル) ・手足を拭く用のタオル ・たらい2つ	○片付けをする。 ・道具(バケツやさまざまな容器)についた泥を取り、かごに入れる。 ・使ったパンツを <u>自分で脱ぎ</u> 、バケツの中に入れる。 ・自分の体についている泥を自分でこすってキレイにする。 ・タオルを使い保育者に手伝ってもらいながら体を拭き、着替える。	・子どもたちの思いやどろんこ遊びを十分に楽しめたことを共感しながら、遊びから片付けへと <u>気持ちの切り替えができるように働きかけて</u> いく。 ・使った道具を片づける・体を洗って拭く・着替え等がスムーズに行えるように保育者がそれぞれ必要などころに位置し、子どもの動きに応じて声を掛け合い対応していく。 ・自分で拭く様子を見守りつつ、髪や背中など拭き残しがないように仕上げを援助する。

【3歳児】 ほし1組 26名(男16、女10) ほし2組 26名(男14、女12)

<1年のテーマ“ジャンプ!!!”>

- ・**自分でジャンプ!**→身の回りのことを何でもやってみたい!という自発的な気持ちを大切に、丁寧に生活習慣を身に着けていく。そこで感じる満足感を十分味わい、子どもがなるべく主体的に取り組めるように配慮していく。
- ・**手を繋いでジャンプ!**→様々なことを友だちとダイナミックにチャレンジすることを通して、一緒に遊ぶ楽しさや面白さを味わえるようにしていく。その中で「もっとこうしたらどう??」という子ども達の工夫する力を大切にしていく。
- ・**せ~のでジャンプ!**→自分のことに自信が持てるようになり、友だちへ興味関心が出てくる時期に、「聞いて!聞いて!」「なに?なに?」と受け止めてもらえる嬉しさを感じ、うまく伝わらなかった時には「なんでかな?」と時には保育者が仲立ちとなりながら一緒に考えていけるようにしていく。

<4月からの成長>

- ・今年度は継続児のみでのスタート♪「ぼく、お兄ちゃんになったから!」と進級したことを喜び、何事も「自分でやってみたい!」と意欲的に取り組み、ロッカーの整理整頓や身だしなみ、姿勢の維持など基本的な生活習慣を意識して生活する姿がある。その中で、うまく出来ない時には「どうしたら出来るかな?」「こうやってみよう!」と探究していくことで、「一生懸命やれば出来るんだ!!」とより大きな満足感を味わう様子へと変わりつつある。
- ・身近な生き物(あおむし、ちょうちょ、かたつむりやカエルなど)を飼育観察し、触れたり世話をすることでより興味が湧き、そこからイメージを膨らませ大きな紙を使ってダイナミックに絵を描いたり、うたを歌ったりしながら思い切り表現することを楽しむ姿が見られる。
- ・自分で何でも出来るという自信から自分以外への興味が広がり、友だちとの関わりが増えている。自分の思いを言葉にして伝える姿があり、戸外あそびでは保育者と一緒に園庭を走り回りしっぽとりを楽しむ姿や「これください。」「ケーキが出来ましたよ~!」とお店屋さんごっこの中でやりとりすることが楽しくて仕方がない様子。
- ・安心して自己主張が出来るようになったことで、友だちとぶつかる様子があるが保育者の見守りの中で「こうされたら嫌だな。」「こうして欲しかったよ。」と伝え合うようになってきており、思い切り気持ちをぶつけ合ったその後には気持ちよく仲直りをして、またあそびへと移行する姿が増えている。



ね~ね~!葉っぱが大きくなってきたよね♪

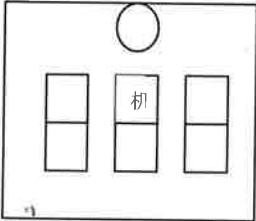
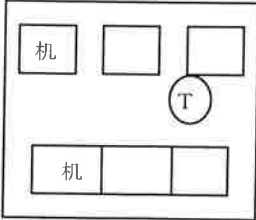
ワクワク☆ <栽培観察>  
どんな花が咲くんだろうね?

いい匂いがするね♪  
<給食の配膳>

<活動のねらい>

- ・ 寒天の感触を味わったり、形が変化したりすることに興味を持つ。
- ・ 友だちと言葉のやりとりを楽しみ、イメージを共有することの楽しさを味わう。

○活動 「寒天に触れて遊ぶ。」 「寒天を使ってお祭りごっこをする。」

時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:40  9:45	<p>&lt;準備しておく物&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寒天(色々な色の寒天を事前に作る。)</li> <li>・透明の容器、魚や星などの形の型、スプーン、おたま、ネット、ペットボトル、コップ、ストロー、などの廃材、水槽、小プール、水、炭酸水など</li> <li>・お祭りごっこで使用するお金(ペットボトルのふた)</li> </ul> 	<p>○てあそび「おやつをたべよ」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭り屋さんに興味を持ち、これから始まる活動に期待が膨らむ。</li> </ul> <p>○保育者の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・容器に入った寒天を見て興味を持つ。</li> <li>・寒天の作り方を見て、不思議そうに見入る子がいる。</li> </ul> <p>○寒天あそびをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・匂いを嗅いだり、手に触れたりする感覚を味わいながら気持ち良さを伝えようとする。</li> <li>・寒天を切ったり、型抜きをしたりし、崩れないようにそっと触れたり挿んだりする。</li> <li>・切った寒天をつんだり、形を組み合わせたたりして友だちと共感する。</li> <li>・水や炭酸水と寒天を合わせた不思議な感触を楽しむ。</li> <li>・廃材を使って少しずつ変化する形や感触の違いを感じる。</li> <li>・スプーンやお皿等を使ってイメージを膨らませ、ままごとあそびをする子もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの活動に期待が持てる雰囲気づくりをする。</li> <li>・寒天あそびをすることに、期待が膨らむような話し方や演出を心掛ける。</li> <li>・「なぜ?」「どうして?」などの不思議さを感じ、興味を持ったり考えたりしたことを丁寧に受け止め、共感する。</li> <li>・「冷たいね。」「気持ちがいいね。」などと保育者も一緒に言葉にして感触を伝え合いながら、友だちとも思いを共感できる雰囲気を作っていく。</li> <li>・どのように触れると崩れないのか子ども達と一緒に考え、考えようとする様子を見守り、必要に応じて言葉を掛ける。</li> <li>・さらに遊びが発展するような子どもの閃きを他児と共感しやすいよう、時には仲立ちとなりながら見守る。</li> <li>・水や炭酸水と寒天が混ざる様子から不思議さを感じ、興味が一気に高まるような演出を心掛ける。</li> <li>・実際に保育者が手本となって見せることで、より感触や形の変化に興味を持てるようにする。</li> <li>・一人ひとりが楽しむ様子を受け止めながら、「もっとやってみよう」という意欲が持てるよう、道具を出すタイミングを配慮する。</li> </ul>
10:10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来上がったたくさんの食べ物を見て、お店屋さんごっこを友だちと楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足感を味わえるよう見守り、次への発展に期待が持てるような言葉掛けをする。</li> <li>・お祭りごっこのイメージが膨らむような演出を職員間の連携で作っていく。</li> </ul>
10:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラックライト</li> <li>・提灯など</li> <li>・お店屋さんの看板</li> </ul>	<p>○お祭りごっこの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机や床に落ちている寒天を拾い集める。</li> <li>・出来上がった食べ物をお店ごとに机の上へ並べていく。</li> </ul> <p>○保育者の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りごっこをすることに期待を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が進んで片付けに取り組みめるよう声を掛ける。</li> <li>・子ども達の導線を配慮し環境設定を工夫する。</li> </ul>
10:25		<p>○お祭りごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いらっしゃいませ」「これください」など友だちとのやりとりを楽しむ。</li> <li>・椅子に座り、自分で買った食べ物を食べたり飲んだりして楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい雰囲気の中にもお祭りごっこでの約束事があることを伝え、よりやりとりが深まるように関わる。</li> <li>・お店屋さんやお客さんになりきり、友だちと一緒に雰囲気を楽しめるような環境を設定する。</li> </ul>
10:40		<p>○片づけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物をロッカーの上に置き、落ちていた寒天を拾ったり、雑巾で床を拭いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だち同士の言葉や表情などでのやりとりが広がっていくよう見守る。</li> <li>・余韻に浸りながら、なるべく子どもが主体となって掃除をし、きれいになったことを感じられるよう必要に応じて個々に援助をしていく。</li> </ul>



【4歳児】 はな1組 28名(男13、女15) はな2組 28名(男13、女15)

<1年のテーマ『もっと もっと』>

・意欲に溢れ、やる気に満ちている子ども達の姿から、好奇心や探求心を更に高めて園生活を楽しく過ごしていけるように、このテーマを決めた。

『もっと、遊びたい！を大切に。』

- ・知りたい！見たい！触りたい！好奇心が溢れている今の時期に感じられる体験がたくさんできるような取り組みをしていく。
- ・チャレンジした姿を認め、失敗しても、次への意欲へと繋げていける関わりを心掛けている。

『もっと元気に！もっと仲良く』

- ・いつでも、どこでも、誰とでも、元気にあいさつができるようにする。
- ・友達の良い所をたくさん見つける。気持ちの良い言葉で相手に伝える。

『もっとキレイに！確実に』

- ・生活の中で「キレイ・気持ちいい」を感じ、一つ一つ行うことへの丁寧さを身につける。

<4月からの成長>

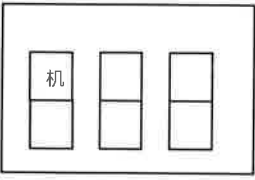
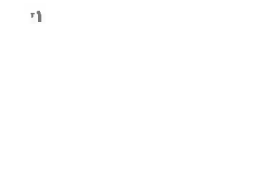
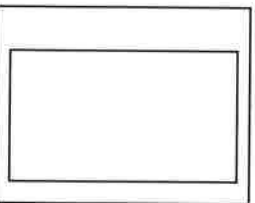
- ・どんなことにでも「はい！やりたい！！」と手を挙げる意欲的な姿は、継続されており、どんな活動へも積極的にチャレンジする姿がある。
- ・隣の保育室の年長児の姿をよく見て刺激を受けている。戸外あそびでの関わりや生活の中での関わりから、お兄さんみたいに出来るようになりたい！という憧れの気持ちが強くなっている。
- ・自分たちも保育園の中では、お兄さんやお姉さんであるという自覚が少しずつ芽生えていると感じられる姿も出てきている。
- ・アカハライモリやおたまじゃくしなどの飼育、ヒマワリの栽培を通して、身近に感じ、大切にしようとする言動が増えてきた。
- ・飼育、栽培している生き物や植物をよく観察し、色々な技法を使って、表現することを楽しんでいる。
- ・戸外あそびやサーキットチャレンジなど、朝、集会の前に積極的に体を動かすことで、その後の活動への切り替えがとてもスムーズになっていると感じられる。また、マラソンや山登り、公園への園外保育を通して、体力作りにも励んでいる。



<はな1 活動のねらい>

- ・自分の作った物が出来上がる達成感を味わう。
- ・育ててきたヒマワリの成長を喜び、友だちと一緒に大きな絵に表現することを楽しむ。

○活動 「Tシャツの洗濯をする。」「大きなヒマワリの絵を描く。」

時刻	環境・準備	子どもの姿	援助・配慮
9:40	<場所> ・保育室	○保育者の話を聞き、染めたTシャツを洗濯する。 ・絵の具の部分をよくもみ洗いし、しっかりと絞る。 ○保育室で体を動かして遊ぶ。	・待つ時間が長ならないように配慮する。また絞り方など丁寧に出来ているが見守る。 ・子ども達が思わずやりたくなるような工夫をする。 ・みんなでやっている時に、個別の関わりをもち、正しい動きを伝えるようにする。
9:50	<準備するもの>	・色々な動きを真似したり、決まった動きにチャレンジする。	
10:00	・ハンガー 	○Tシャツを干す。 ・友達同士で見せ合いながら、Tシャツが完成に近づくことに期待を持つ。	・子ども達の言葉に共感しながら、完成する満足感や今後Tシャツを着られる期待が高まるような言葉を掛ける。 ・子どもたちが思わず描きたいと思えるようなヒマワリや写真をあらかじめ用意しておく。 ・自信に繋がる言葉をかけ楽しい雰囲気作りをする。 ・子どもたちの言葉を受け止めながら、もっと描きたいと思えるような話し方や演出を心掛ける。
10:10		○小さな紙にヒマワリを描く。 ・育ててきたヒマワリや写真を見て、 <u>描きたい思いが表情に表れる。</u> ・紙の小ささに驚く子もいる。 ・もっと大きな紙に大きなヒマワリを描いてみたい気持ちが言葉に出る。	・十分なスペースを作り子どもたちと準備を進めていく。
10:20	・  <準備するもの> ・ブルーシート、大きな紙、絵の具、貼り絵に使う材料	○保育者の話を聞き、準備をする。 ・椅子を片付けブルーシートを敷く。 ・ペアをつくる。 ・共有のものは、どちらが持ってくるのか相談して決める。  ○大きな紙に大きなヒマワリを描く。 ・大きな紙を見て <u>描きたいという思いが膨らむ。</u> ・楽しそうな足スタンプに期待が膨らむ。 ・順番に足スタンプをし、ペアの友だちの足を雑巾で拭く。 ・貼り絵をして花びらを作る。 ・段々とヒマワリの形になってくる様子を見て、 <u>友だちと共感の言葉を伝え合う。</u> ・違う方法でヒマワリを表現している友だちの姿に興味を持ったり、 <u>気持ちを伝えたりする。</u> ・周りをタンポスタンプで色を付けていく。	・友だち同士で話し合いをするよう見守ったり、仲立ちをしながら関わる。  ・子どもたちの盛り上がる思いに共感しながら、一体感が持てるような言葉掛けを心掛ける。 ・掛け声をかけて足スタンプをするなど楽しい雰囲気づくりを心掛ける。 ・一人ひとりが楽しむ様子を受け止めながら、違う色の絵の具を出すなどのタイミングを配慮する。 ・個々の姿を踏まえたうえで貼り絵にも誘い掛ける。 ・喜ぶ姿や言葉を受け止めながら、保育者が必要に応じて見本を知らせることで、最後まで意欲を持って取り組めるよう関わる。 ・一人ひとりの姿に認める言葉を掛けることで、子どもたちも互いを認め合う言葉が伝え合える雰囲気づくりを心掛ける。 ・一人ひとりの気持ちの状況に合わせ、必要に応じた言葉や道具を使い対応をして関わる。
10:40		○完成した絵を見る。 ・完成した絵を見て、 <u>できた喜びや満足感を友だちと共感する姿がある。</u>  ・完成した絵をみんなにも見てもらいたい、飾りたいという言葉が出る。	・描いていく中で、面白かった所、難しかった所、友だちのいいなと思った所などを伝え合う時間を作り満足感が味わえるようにする。 ・満足感やもっとやりたい、またやりたいという思いに共感し、次への期待につながる言葉を掛ける。
10:50		○片づけをする。 ・使った道具を前の机に集めたり、雑巾で床を拭く。	・子ども達と一緒にいき、片づけまでが活動であること、部屋がきれいになる嬉しさをみんなで味わえるようにする。

<はな2 活動のねらい>

- ・見て感じたことを様々な技法を使って、表現する楽しさを味わう。
- ・友達と一緒に作り、完成する喜びを感じる。

○活動 「様々な技法を使って、花火を表現する。」			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:40	<場所> ・保育室	○保育室で体を動かして遊ぶ。 ・色々な動きを真似したり、決まった動きにチャレンジしたりする。	・子ども達が思わずやりたくなるような工夫をする。 ・みんなでやっている時に、個別ほ関わりをもち、正しい動きを伝えるようにする。
9:50	<準備するもの> ・花火の映像 ・アクリル板（銀色） ・つまようじ ・竹串	○花火の映像を見る ・映像を見て、 <u>花火の色や形の変化に気付く。</u> ・花火のキレイさに感動した表情や言葉が出る。	・花火の形や色のイメージを持ちやすいように、花火の映像を用意する。 ・子ども達の映像を見て花火に対する思いや発見を受け止め、共感する。
9:55	・シート	○花火の絵をクレヨンで描く。 ・色々な色を使って描く。	・色々な描き方、表現の仕方を認め、もっと描きたくなるような声掛けをする。
10:05	・アクリル板（黒色） ・油性ペン	○スクラッチ画（ひっかき画）をする —銀色のシールシート— ・絵の具が塗られたシールを受け取り、ひっかいてみる。 ・ひっかいた所から、銀色が見えたことに驚き、 <u>友達と共感し合う姿がある。</u> ・楽しくなり、 <u>夢中で削っていく。</u>  —薄いアクリル板— ・配られたアクリル板の裏側にペンで塗り残しがないように塗っていく。  ・削ったものを光にかざしながら色のついた花火ができていくのを楽しむ。 ・出来上がったものを <u>友達と見せ合い、どんな花火を描いたのか伝え合う。</u>	・スクラッチに使うつまようじの先や使い方が危なくないように配慮する。 ・上手く削れない子には、個別に援助し、つまようじの使い方を伝えていく。 ・子ども同士がお互いにどんな花火を描いたのか興味を持つことが出来るような言葉がけをしていく。 ・マジックで塗っている時には、次（スクラッチ）への期待が膨らむような言葉を心掛ける ・達成感や感動をより盛り上げるように出来たものから、展示していける環境を整える。
10:25	<準備するもの> ・画用紙（黒色、紺色） ・ティッシュペーパー	○ティッシュを使って、花火を作る。 ・ティッシュが画用紙に貼りつくことに驚き、 <u>自分もやってみたいと感じる。</u> ・もっとたくさんの花火を作りたいと思いい、 <u>友達と一緒に盛り上がっていく。</u> ・投げてもくっつくことに楽しさを感じ、意欲が高まる。 ・ <u>自分たちで順番を決めたり、ルールを決めたりして楽しむ姿がある。</u>	・活動と活動との間が空かず、できるだけスムーズに移行できるように事前の環境設定を工夫する。 ・子ども達が驚いて、やりたくなるような導入の工夫、演出をする。 ・活動を進める中で、子ども達同士の関わりに気を配る。
10:35		○出来た花火を光らせる。 ・ブラックライトを使って光った瞬間に <u>感動の声上がり、友達と顔を見合わせ共感する。</u> ○掃除をする ・床についた絵の具を協力して雑巾を使って拭いていく。 ・綺麗になった部屋を見て、 <u>満足感を味わう。</u>	・自分たちでルールを作ったり、やろうとしたりしている姿を見守り、状況に応じて声をかけ、援助していく。 ・細かいところにも気が付くことが出来るように声を掛ける。 ・掃除を協力したことで、綺麗になったことを褒め自信に繋げていく。



【5歳児】 つき1組 27名(男9、女18) つき2組 27名(男10・女17)

〈1年のテーマ “すべての山に登ろう!”〉

- 自分の力を信じて、大きな山にも険しい山にも登ってみよう! 山頂の景色も、険しい道中も、達成も失敗もどんな事もいつか自分の力になるよ!
- みんなのまわりには友だちがいるよ! みんなで協力すれば、大きな山にも登れるね! みんなで豊かに表現したり、気持ちを聞いたりすると楽しさ倍増だ!
- 登っていく熱い思いや盛り上がり、子どもたちから保護者へ、保護者から子どもへ、つながり合い変化していくような働きかけを保育者に効果的にしていこう!

〈4月からのここまでの育ち〉

- 年長クラスに強い憧れを持ち、早くつき組になりたいとてなりたくて、やっと年長になれた嬉しさと自信から、いろいろな事にチャレンジをしたり、少し背伸びをして頑張ってみたり、毎日繰り返す事にもコツコツと取り組んだりする姿が見られる。
- 友だちとのぶつかり合いやすれ違いから、相手の思いと自分の気持ちとの違いに気づき、思いやりの気持ちが言葉や態度で表せるようになり、折り合いをつける事も少しずつ自分たちの力でできるようになってきた。
- 自分ができない事も友だちの姿を見て自分も挑戦し、興味なかったことにも友だちに誘われる事で、興味や関心を深める機会となっている。友だち同士で教え合ったり、負けまいと努力をしたりと、いい刺激を受けあっても成長している。
- 集団での楽しさや面白さを経験しながら、みんなで協力をした時のパワーや、役割分担をした責任、助け合うことの喜びも感じている。協調するとともに、集団の中の1人としての自分の存在もしっかりと表現できるように心がけている。



〈つき1 活動のねらい〉

◎水の中でいろいろな動きを楽しむ。

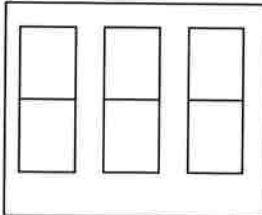
◎自分の気持ちをコントロールしながら、目標を持って意欲的に取り組む。

◎自分の目標に向かって挑戦し、できるようになる嬉しさや達成感を味わう。

○本日の活動 「プールあそび」			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:40	場所「保育室」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プールあそびの支度をする</li> <li>・水着に着替え、脱いだ衣類をきちんとたたむ。</li> <li>・今から始まる活動に期待感を持つ。</li> <li>○体操をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気温、水温、水位など、プールの安全管理や衛生面に配慮する。</li> <li>・ プールあそびに期待が持てるよう言葉かけをする。</li> <li>・ 着替え等、自分の事は自分でやろうとする姿を見守っていく。</li> <li>・ 準備運動の大切さを伝えながら、子ども達と一緒に元気に体を動かす。</li> <li>・ プールでは<u>約束事を守り</u>、安全に楽しく遊べるようしっかりと見守る。</li> </ul>
10:00	「屋上プール」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 足洗い用の桶に水を入れておく</li> <li>・ 水温や気温を計り、消毒を適量入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プールあそびをする</li> <li>・ プールでの約束事を守ってあそぶ。</li> <li>・ 水に顔をつけること、伏し浮きをすることを怖がる子もいる。</li> <li>・ 保育者を信頼し手助けをしてもらいながら、苦手なことでもやってみようとする。</li> <li>・ できるようになったことを見せ合う。</li> <li>・ 友だちの頑張りを認めたり応援したりする。</li> <li>・ 次の目標に向かって挑戦する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水に触れる心地よさに共感しながら、徐々に水の中で体を慣らしていきけるようにする。</li> <li>・ 自分なりに楽しむ時間とみんなと同じ動きを楽しむ時間とを設け、<u>経験の幅を広げていく。</u></li> <li>・ 水の中と陸上での体の動き、<u>感覚の違いを意識できるようにする。</u></li> <li>・ 課題に取り組む中でも、“<u>やってみたい</u>”と思えるような働きかけ、<u>雰囲気作り</u>を心がける。</li> <li>・ <u>友だちの頑張りに目を向ける大切さ、友だちの励ましの嬉しさを感じられるようにする。</u></li> <li>・ その子なりの頑張りを認めたり励ましたりして、<u>自信に繋がるようにしていく。</u>また、頑張ったという思いをクラス全体で共有できるようにする。</li> </ul>
10:30		<ul style="list-style-type: none"> <li>○プール後の後始末をする。</li> <li>・ シャワーを浴びた子から、水着を脱ぐ。</li> <li>・ タオルで体や髪を拭く。</li> <li>・ 脱いだ水着を絞り、プールバッグにしまう。</li> <li>・ 女兒は髪ゴムをとったり、友だちのゴムをとってあげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プールあそびを十分楽しんだことに共感しながら、後始末の様子を見守ったり、友だち同士で<u>手助けし合えるよう</u>声をかける。</li> <li>・ 身のまわりの物を<u>きちんと</u>整えられるよう様子を見守ったり、声をかけていく。</li> </ul>
10:40	「保育室」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○着替えをする</li> <li>○休息をとり、水分補給をする。</li> </ul>	

〈つき2 活動のねらい〉

- ◎色々な廃材や教材を使って、イメージを膨らませて、乳児の玩具作りを楽しむ。
- ◎失敗しても、根気よく取り組んだり工夫したりして、やり遂げる喜びや自信をつける。
- ◎年下の子に喜ばれる事で自尊心を高め、思いやりの気持ちを育む。

○活動 「様々な廃材・テープやペンを使って乳児の喜び玩具を作る」			
時刻	環境・準備	予想される子どもの活動	援助・配慮
9:30	<p>〈場所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室</li> </ul>	<p>○保育者の話を聞き、必要な物を支度する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の物は自分で支度し、共有の物は協力して支度する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今からの活動に期待を膨らませながら、準備する物の見通しが立つように話す。</li> <li>・ イメージした物を様々な方法で創意工夫を凝らして自由に表現できるように、活動に必要な素材や用具を準備する。</li> <li>・ 作りたくなるような雰囲気作りや、イメージが膨らむような言葉掛けをする。</li> <li>・ その子がイメージしているもの受け止めて、作りたい物にもっと近づくようなアドバイスやヒントを知らせていく。</li> <li>・ 出来あがっていくことに期待や意欲が持てるような雰囲気作りをする。</li> <li>・ 話し合っている様子を見守り、お互いの意見に折り合いをつけられるような声掛けを心掛ける。</li> <li>・ 工夫したり、根気よく作り上げたりしていくことでやり遂げる喜びや自信が持てるように配慮する。</li> <li>・ 思いを汲み取りながら一緒になって考え、自分で出来た喜びを味わえるようにする。また、出来上がった達成感を味わえるようにする。</li> <li>・ 仕上がる時間に個人差が出るので、個々に合わせた配慮をする。</li> <li>・ 見て欲しいところ、難しかったところなど、友達同士で気持ちが伝え合うことで、気持ちを共有し、伝え合う楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・ 子供たちの達成感や充実感を次への意欲を共感し、次回への期待感が繋がる言葉かけをする。</li> <li>・ 子どもたちと一緒に行動することで、綺麗になっていく気持ちよさや片付けが終わった達成感をみんなで味わえるようにする。</li> <li>・ 喜んでもらったことで自信に繋がるような働きかけをする。</li> </ul>
9:35	 <p>〈準備する物〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃材</li> <li>・ 画用紙・テープ</li> <li>・ ペン など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何をするのか、期待が高まっている。</li> </ul> <p>○玩具作りの話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話を聞いて、作りたい物をイメージしたり、友達の案を聞いたり、作ってみたいという気持ちになっていく。</li> </ul> <p>○玩具作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な廃材を選び、共有の物は貸し借りしながら作っている。</li> <li>・ イメージした物が形になっていくことの楽しさを感じている。</li> <li>・ 思ったような形にならずに、困っている姿がある。</li> <li>・ 友だちと協力して意見を出し合いながら、一緒に作ろうとする子もいる。</li> <li>・ 友達の玩具を見合う時間を取り、作っている物を見せ合う。</li> </ul> <p>○出来た玩具を友達同士で見合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の玩具を見たり、触ってみたい、感想を伝え合う。</li> <li>・ 出来た喜びや達成感を友達と共感している。</li> </ul>	
10:15		<p>○片付け、掃除をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ拾いをし、まだ使える材料を見分けてまとめ、掃除をする。</li> </ul>	
10:25		<p>○完成した玩具を乳児クラスに渡しに行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作った物を渡して、喜んでくれていたことにやりがいや達成感を感じている。</li> </ul>	



## 【 児童クラブの保育 】

第1明照児童クラブ 53名(2年生26名/3年生27名)

第2明照児童クラブ 30名(4年生15名/5年生11名/6年生4名)

第3明照児童クラブ 33名(1年生33名)

総合計 116名

### ○ 1年のテーマ『Children first』

- ・安心で安全な環境のなかで毎日の生活がおくれるようにする。
- ・大人の都合で子どもに制限をかけることを極力少なくする。
- ・小学生の自覚を持たせ、園児のよいお手本となれるような行動と言動を心がけさせる。特に高学年の子は、児童クラブおよび園児たちのリーダーとして適した振る舞いを身につけさせる。
- ・普段のなにげない生活でも特別な時間になるようにしよう！！
- ・この児童クラブでしか出来ない特別な経験を体験しよう！！

なにげない生活が特別な  
時間になるように！



リレーマラソンの大会において練習中。  
42.195kmをチームでたすきをつなぎます。



### ○ 4月からの成長

- ・学年が上がったことで、その学年に応じた自覚が少しずつ見られるようになってきました。下の子の面倒を見てくれたり、先生や保育園のお手伝いもこちらが言わなくても、積極的に出来るようになってきました。
- ・1年生も同学年の子だけでなく上級生と一緒に遊び、時間を過ごすことが多くなって来ました。そして、上級生のよいところを学んでいってくれています。1年生の子は児童クラブでは一番低学年になりますが、年長児の子たちにとっては、一番身近で憧れの存在となっています。
- ・5、6年生の子どもたちは、保育園とクラブ全体の子どものリーダーとしての自覚と責任を持った行動や言動、所作などが出来るようになってきました。本当に頼れる存在となりました。



遊ぶのに学年なんて  
関係なし！！

園児のお世話も  
楽しんでして  
れています！



### ○ 本日の活動について

午前中は小学校のプールに出かけています。プールに行かない子は、保育園の小さな子のお世話やお手伝いをしています。雨天の場合は、午前中に夏休みの宿題を行います。

社会福祉法人明照保育園 幼保連携型認定こども園 明照保育園 平成29年度 保育・教育課程

事業の目的	全ての子どもに認定こども園法に基づいて、乳児及び幼児の教育及び保育事業を行うこと						<b>事業に地域の実態</b> かつての農漁村から宅地化が進む中、共働きの家庭が多く、祖父母が同居または近くに住む家庭も多いものの、祖父母の多くも仕事を持っており、育児の伝承機能や地域総合扶助力が低下している。その為地域のニーズにより、時間延長保育・障害児保育・子育て支援事業・地域交流事業の他、学童保育（明照児童クラブ）もしている。
保育理念（事業運営方針）	「豊かな体験・遊びを通じ、情緒豊かで自立した子どもを育てる」の保育・教育理念に基づき子どもの人権や主体性、個性を尊重し、1人1人の最善の幸福の為に保護者や地域社会と協力し、児童の福祉を増進する。あわせて地域社会における家庭援助を積極的に行うことで、充実した子育て社会を実現する公的施設として、社会的責任を果たしていくことに努める。						
保育方針	・保育に関わる専門職同士がそれぞれの専門性を発揮しながら協力し、養護と教育の一体的な展開を図り、保育の内容の質を高め、充実させる。 ・子どもの主体的な発達要求に回答する環境を豊かに整え、自ら興味関心を持って環境に関わり、チャレンジしたことへの達成感を味わえるようにし、心情・意欲・態度を養う。 ・子どもの24時間の生活を視野に入れ、家庭との連携を密にして、発達過程に応じた育ちを導けるよう、保護者の共感を得て養育力の向上を支援する。 ・子どもが育つ道筋や生涯教育を見据えた長期的視野を持って、小学校と情報交換をしたり交流を密にししたりして積極的に連携していく。 ・「保育・教育課程」を柱に「年間指導計画」「月週日案」等の計画を立て、実践後に記録・評価を作成し、一人一人の子どもや年齢別に編成されたクラスにおける「計画・実践・検証・改善」のPDCAを職員全体で共通把握することで、園全体の向上を図る。						<b>社会的責任</b> 【認定こども園の役割】教育及び福祉施設として子育て家庭や地域に対しこども園としての役割を確実に果たす。 【人権尊重】職員は、保育の営みが子どもの人権を守る為に法的・制度的に裏付けられていることを認識する。 【説明責任】保護者や地域社会と連携・交流を図り、一方的な説明でなく分かりやすく回答的な説明をする。 【情報保護】保育にあたり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由無く漏らしてはならない。 【苦情処理・解決】苦情解決責任者である園長の下に苦情解決担当者を決め、園面における体制を整備する。また第三者委員会を設置する。
教育・保育目標とする子ども像	心身ともにたくましく、思いやりのある子ども						
発達過程とクラス編成	6年年齢別のクラス（幼児6クラス、乳児5クラスの計11クラス）で園生活を送るにあたり、保育指針の8つの発達段階を前提に計画等がなされている。また、1人1人の成長段階をふまえ、養護と教育が一体となり保育が展開される。						
保育時間	*1号認定…平日 8:30~15:30、土曜日 8:30~12:00      *2・3号認定…平日 8:00~16:00、土曜日 8:00~12:00      ☆宮延長保育…平日 7:00~19:00、土曜日 7:00~12:00 保護者・地域・子育て家庭への支援及び取り組み						
養護（保育教諭が行う事項） 生命の保持 情緒の安定	0歳児	1歳児	2歳児（満3歳児）	3歳児	4歳児	5歳児	○【明照げんきっ子ビデオ】園生活を学年ごとにビデオで知らせる ○【お知らせくん】その日の保育の様子を保護者にメール等で知らせる ○【わいわい広場】インターネットの子育て掲示板 ○子育て支援活動（園庭開放・年齢別ひろば・育児相談・情報誌） ○実習生・職場体験の受け入れ ○なかよし保育（小中学生・地域との交流） ○地域行事への参加（七五三、節分） ○高齢者施設等との交流 他
	・人への基本的信頼感が芽生える ・生理的欲求を満たし、個々の生活リズムを整える ・発達過程などを的確に把握し応答的なふれ合いや言葉かけを行う ・依存的欲求を満たす	・特定の保育者との信頼関係が更に深まり愛着関係が育まれるように接する ・スキンシップにより、保育者との関わり心地よさや安心感を得るように接する	・生活や遊びの中で自我が育つような関わりを持つ ・気候に応じて体調管理をする ・子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく	・基本的な生活習慣を身につけられるようにする ・運動機能が高まるようにする ・主体的な活動を促す環境を構成し探索意欲が高められるように見守る	・自ら体調の変化に気づく ・運動量が増し活発に活動できるように配慮する ・多様な経験を通じ自己肯定感を育み、自信や保育士への信頼を獲得できるようにする	・生活や遊びの中で、1つの目標に向かい力を合わせて活動し達成感や充実感をみんんで味わう ・健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにする ・保育園が子どもたちにとって安心・リラックスして生活できる場とする	
教育及び保育（教育・保育要領の第9章を鑑み、保育の領域が示す目的に沿って）	教育及び保育						幼保連携型認定こども園教育・保育要領（①心情②意欲③態度を意味する）
	健康	・清潔になる事の心地よさを感じる ・特定の保育者との関わりにより信頼関係が生まれる	・身のまわりの簡単なことを援助してもらいながら自分でしようとする ・保育者や友だちに関心を持ち真似をしたり自ら関わろうとする	・生活の中で援助してもらいながら自分でできたことに喜びを感じる ・生活や遊びの中で順番を待つなどの決まりがあることを知る	・身のまわりを清潔にし生活に必要な活動を自分でしようとする ・友だちと簡単なルールのある遊びをする中でルールが守られる	・自分の身体に関心を持ち、異常を感じたら自分から保育者等に知らせる ・共同で使う物の貸し借りができるように、我慢することを覚える	① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ② 自分の体を十分に動かし、楽しんで運動しようとする。 ③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ④ 幼保連携型認定こども園の生活を愛しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ⑤ 身近な人と親しみあかかわりを深め愛情や信頼感を持つ。 ⑥ 社会生活における健全な習慣や態度を身に付ける。 ⑦ 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ⑧ 身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ⑨ 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、ものの性質や数、文字などに対する感覚を豊かにする。 ⑩ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ⑪ 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ⑫ 日常生活に必要な言葉が分かるようになることにも、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。 ⑬ いろいろなもの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ⑭ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ⑮ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 ※教育計画に基づき教育会議を実施し、保護者との連携を図りながらすすめる
	人間関係	・安心できる人的及び物的環境の下で感覚の動きを豊かにする	・好きな玩具や遊具に興味を持って積極的に関わり様々な遊びを楽しむ	・身近なもので遊んだりする中で、物への愛着や親しみを持つ	・身近な動植物に親しみを持ち世話をすることで生命の尊さに気づく	・室内外の危険な物や場所・危険な行動を知り気をつけて活動をする ・遊びや行事を通じ力を合わせる大切さを知り、友だちを思いやる気持ちを持つ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
	環境	・語りかけられることにより声を出したり応えようとする	・話しかけややり取りの中で声や言葉で気持ちを表そうとする	・絵本などで楽しみながら言葉に親しみ、模倣を楽しんだりする	・話を聞いたり質問したり、興味のある言葉によるイメージを楽しむ	・保育者や友だちとの会話を楽しみ相手に伝わるように話す工夫をする	・人の話を聞いたり身近な文字に触れたりして言葉への興味を広げる
	表現	・土や水などの素材に触れ全身で感触を楽しみ感性を育てる	・保育者や友達と一緒に歌や手あそび、リズムに合わせ身体を動かすことを楽しむ	・保育者や友達と遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ	・いろいろな素材や用具に親しみ友だちと工夫して遊ぶ	・友だちと歌ったり踊ったりして1つものを作り上げる楽しさを味わう	・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊ぶ楽しさを味わう
	食育	・もくもくごっくんを楽しむ	・食べることを楽しむ	・意欲的に食べるようになる	・食材に興味を持ち、楽しく食べながらマナーを身につける	・友だちと一緒に作ったり食べたりすることの楽しさを知る	食事を健康や成長につながることを意識し、感謝の気持ちを持つ
健康支援	○健康・発育・発達状態の把握 ○登園児及び保育中の心身状態や家庭生活・養育状態の把握 ○便・尿・ぎょう虫等の検査 ○内科・歯科健診 ○保健だより ○食育だより ○異常が認められた時の対応 ○離乳食児・アレルギー児への個別生活支援						
環境・衛生管理	○施設内外の設備・用具等の清掃及び消毒 ○安全管理及び自主点検 ○職員健康診断 ○調理員の検便 ○感染予防対策の実施及び保護者との情報共有						
安全対策・事故防止	○毎月の避難訓練（火災・地震・不審者対応） ○消防点検 ○交通安全指導 ○救命講習会（AEDを含む）						
学校との連携	○小学校との情報交換会 ○幼年期教育委員会 ○認定こども園保育要領を小学校へ送付 ○小学校見学・体験 ○園行事への参加呼びかけ ○中学生の保育体験授業及び職場体験 ○保育者養成校の保育実習等						
特色ある保育 研修計画 職員 保育委員 自己評価	○園バスでの園外保育活動 ○様々な栽培園活動 ○文化的活動（年長児の日舞・和太鼓・剣道）○計画的な体育指導 ○たてわり保育やなかよし保育による異年齢児交流 ○食育の一環としての調理員と連携したクッキング活動 ○定期的な園内研修（園内研究・食育・和太鼓・リズム・体育など） ○各種園外研修への計画的参加（保育方法・給食・アレルギー・障害児保育・家庭支援・行政等） ○保育計画 ○安全・防災・保健・衛生 ○動植物・食育・自然環境 ○室内遊具・教育環境 ○特別室・戸外環境 ○行事・活動備品環境 の各環境委員会を設置し、現状把握・分析・整備を行い、保育環境の向上を図る ○毎週・毎月ごとに保育を見直し、改善していく ○職員間評価によるヒアリング ○職員による保育環境研究委員会での評価						

18



# 明照保育園

みな、お手伝いが出来ればと願っています。お母さん方が子どもを産んで良かったと思える

- 園だより 29年7月更新
- 保健だより 29年7月更新
- 献立・給食だより 29年7月更新
- すくすく便り 29年7月更新
- 放送教育及びその他の研究発表 29年7月更新
- 子育て支援 29年4月更新
- トピックス 29年7月更新
- スタッフ紹介 29年4月更新
- 明照のしおり 保育課程 園則 28年5月更新
- ガイドブック(28年6月更新) 常勤保育士経験年数(14年)
- 講演活動等

### 幼保連携型認定こども園 ~卒園児が集う保育園~

●園長 明照保育園

子どもと笑し遊ぶから成長もアゲアゲする

「子どもは親の背中を見て育つ」明照保育園はまさにこれを体現しています。園長は「職員」として「親との交流」を大切に、常に園児の笑顔に目を注いでいます。園長とスタッフが、子どもは自然に社会で生きていく力を身につける。100歳以上の夢がある園で、卒業生や地域の中高生との交流も盛ん。多くの「あやちゃん」や「いんちゃん」が誕生を喜んでいます。

園長は隊長

卒園後もつながり続けるアットホームな保育園

●毎週こいのぼり鑑賞(地域100歳)

●園児の朝の小学校から毎日定例会場に参加

●地域の人が保護者体験できる「はなと保護者」定期開催

254人 43人 12名 (土、平日2名)

- 地域貢献活動 無料学習支援及び子ども食堂 不登校支援(フリースクール) 出張子育て支援「ほいくる」
- 29年4月更新(年間行事予定) 年間の行事予定(旧)
- 「げんきっ子ビデオ」 10年11月更新
- 卒園文集 10年4月更新
- 園内探検 11年4月更新
- 児童クラブ便り(29/7) 児童クラブ(H15/4~) 児童クラブしおり
- 平成16年度より児童クラブ内に地域の小中学校と連携しながら登校支援を行うフリースクールを始めました。
- 職員研修 28年度 27年度 26年度 25年度 24年度 (その他に外部講師をお招きして内部研修を定期的に行っています)
- 28年度財務諸表(29/6 PDF) 定款(29/6 PDF) 役員報酬等支給基準

## おしらせ

- フリーマーケット・・・5月31日～6月2日
- 豊川リレーマソン(児童クラブ)・・・6月4日(日)
- バス園外保育(ほし)・・・6月7日(水)
- バス園外保育(あか)・・・6月9日(金)
- バス園外保育(ゆき)・・・6月12日(月)
- 身体測定・・・6月14日(水)
- 園庭開放&0才広場・・・6月14日(水)
- 歯科検診・・・6月15日(木)
- バス園外保育(中消防署見学:つき)・・・6月16日(金)
- キッズピクス(つき)・・・6月20日(火)
- 英語であそぼ!・・・6月21日(水)
- 園庭開放&1,2才広場・・・6月21日(水)
- プール開き・・・6月22日(木)
- 避難訓練・・・6月23日(金)
- なかよし保育・・・6月24日(土)
- おやくる・・・6月24日(土)
- 第二回明照あそび塾・・・6月24日(土)
- バス園外保育(はな)・・・6月26日(月)
- 個人懇談会・・・6月26日(月)～7月7日まで
- 園庭開放(水遊び)・・・6月28日(水)
- 6月誕生会・・・6月29日(木)
- バス園外保育(そら)・・・6月30日(金)
- トマト狩り(つき・はな)・・・7月3日(月)
- プラネタリウム&山登り(つき)7月4日(火)
- 全国防災地震訓練・・・7月5日(水)
- 園庭開放(水遊び)・・・7月5日(水)
- 七夕の集い・・・7月6日(木)
- バス園外保育(ほし)・・・7月7日(金)
- 老人福祉施設訪問(つき)・・・7月7日(金)
- なかよし保育・・・7月8日(土)
- おやくる・・・7月8日(土)
- 第三回明照あそび塾・・・7月8日(土)
- バス園外保育(あか)・・・7月10日(月)
- 身体測定・・・7月11日(火)
- 園庭開放(水遊び)・・・7月12日(水)
- 資源回収・・・7月13・14日
- 父母の会役員会・・・7月14日(金)
- 7月誕生会・・・7月19日(水)
- お泊まり保育・・・7月21・22日(金、土)
- 「ちいさな黄色い手紙」展・・・7月23日(日)
- キッズピクス(つき)・・・7月25日(火)
- 園庭開放(水遊び)・・・7月26日(水)
- トマト狩り(つき)・・・7月26日(水)
- 公開保育(教職員対象)・・・7月28日(金)

- 29年度の公開保育(教職員対象)は、8月22日(火)です。(案内) [28年度公開保育\(8/25\)のお知らせ](#) [当日配付資料](#) [27年度公開保育\(15/8\)](#)
- AED常備施設!(ほとんどの職員が救命講習を受けています) \*応急手当指導員資格 石川先生、応急手当普及員資格 まさと先生・しょうご先生
- 新園舎改修工事終わりました!ご協力をありがとうございました。(28/4)
- 平成2年度から始まった普段の保育を記録した「げんきっ子ビデオ」。平成14年前後からDVD化を進めてきましたが、VHSでダビングをした方も多く、また、それ以前の「げんきっ子ビデオ」をVHSでお持ちの方からのご要望の多かったDVD化が平成5年度まで出来ました。今後、何とか平成3年まではマスターテープ(なんとEDbeta!)があるので順次DVD化していく予定です。昔の「げんきっ子ビデオ」をDVDで欲しい方はご相談下さい。(協力金:1枚300円です)
- 14年5月より毎日の保育をその日のうちにお知らせする「お知らせ君」を始めました。登録されると4時頃までに携帯電話やPCにEメールで毎日配信されます。
- ココニコ(こども未来館)にて毎週火曜日の午前中に出張子育て支援「ほいくる」をしています。◎HP [参加園スケジュール](#) 紙芝居、手遊び、エプロンシアター、ペープサートなどを行っています。子育ての悩みもお気軽にご相談ください!(東日・東愛知新聞1・2)
- 第1回保育祭り(東日・東愛知新聞)「第2回保育まつり」(東日新聞)
- 職員採用 ◎HP <http://www.hoiku-toyohashi.jp/saiyou/>
- 講演活動(ご要望があればお知らせください)
- 母の会連合会研修会(22年度 23年度 25年度 26年度 27年度) 海洋生物「薬」者の林くんが遊びに来てくれたよ! (21年10月、22年4月)
- 「家庭に社会がありますか?」(07/12)





# 明照つばめっ子

未入園家庭への子育て支援だより

平成29年4月

おはようへ

社会福祉法人 明照保育園  
幼保連携型こども園

明照保育園

園長 中島 章裕

〒441-8093 牟呂中村町6-1

TEL 0532-31-1419 Fax 31-1499

URL <http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm>

e-mail [meisyou@tcp-ip.or.jp](mailto:meisyou@tcp-ip.or.jp)

子育て真っ最中のお母さん、そしてこれから子育てを考えている方へ  
一緒に子育てを考えたり楽しんだりしませんか？

- ★私の子育てって、これでいいのかしら
- ★子どもにどう接したらいいのかわからない
- ★子どものことで心配なことがあるんだけど...
- ★子育てを一緒にする仲間が欲しい
- ★保育園で遊んでみたいなあ



こんな思いをお持ちの方、どうぞ明照保育園にいらしてください。  
そして一緒に遊んだりお話ししたりしながら、楽しく子どもを育てていきましょう！

明照保育園では、子育てを応援するために、次のことを行っています。ぜひご参加下さい。

初めて参加する時に登録していただけます。子どもさんは毎回名札シールを付けて参加します。

※ 子育てをこれから予定している方も、お気軽にご相談下さい。お待ちしております！

## 【園庭開放】9:30~10:45

園庭や遊戯室で、親子で自由に遊んだり、子どもさんを見ながら、お母さん同士も気軽に交流をしたりします。時には保育中の園児と一緒に遊んだりもします。(右の表を参照)

## 【親子ひろば】9:30 受付 9:45~10:45

園庭開放と同じ日に行い、同じ年齢の子ども同士で発達に合った活動を楽しみます。定員は、活動により15~20組親子の間で受け入れます。バスでの活動以外は予約の必要はありません。(右の予定表を参照)

## 【行事公開・参加】◎

園の行事をご案内しますので、どうぞ見学に来て下さい。(右の表を参照)

## 【保育園内たんけん】◆

園内やこどもたちの様子等、どうぞご覧ください。(年3回...右の表を参照)

## 【育児相談】

育児について、お気軽に電話・メール等でご相談下さい。必要に応じて面談も致します。

## 【育児講座】

子どもさんの成長や子育てについて、専門の先生をお招きして講座を開きます。詳しいことが決まりましたら、『明照つばめっ子』や掲示板等でお知らせします。

【園の情報をインターネットで公開】 <http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/index.htm>

## 【本園への入園を希望される方へ】

入園を希望する年度の前々年度の9月より相談を受け付けます。(入園申込ではありません) また、来年度入園予定で手続きを進めているご家庭への説明会を9月初旬に実施します。日程等は7・8月の園庭開放の時に、お問い合わせください。

## ☆園庭開放&親子ひろばの予定

月日	内容	月日	内容
5/10	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *みんなでおやつ(おやつ代100円必要)	10/25	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *楽しくつくろう
5/17	園庭開放&◆園内たんけん 親子ひろば【0歳児】 *みんなでおやつ(おやつ代100円必要)	11/15	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *楽しく作ろう
6/7	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *楽器を鳴らそう	11/22	園庭開放&◆園内たんけん 親子ひろば【0歳児】 *楽しく作ろう
6/14	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *おおきくなったね	12/13	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *楽器を鳴らしましょう
6/21	園庭開放&◆園内たんけん 親子ひろば【1・2歳児】 *おおきくなったね	12/20	園庭開放 親子ひろば【1・2歳児】 *みんなで遊ぼう
6/28	園庭開放&水あそび	1/9 (火)	親子ひろば【全年齢対象】
7/5	園庭開放&水あそび	1/16 (火)	*バスに乗って創造大へあそびに行こう 9:30 出発~12:00 頃※予約が必要です
7/12	園庭開放&水あそび	2/6(火)	
7/26	園庭開放&水あそび	2/28	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *親子であそぼう
9/13	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *みんなであそぼう	3/7	園庭開放 親子ひろば【0歳児】 *楽器を鳴らそう
9/20	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *はじめまして 自己紹介	3/14	園庭開放 親子ひろば【次年度0歳児】 *みんなでおやつ(おやつ代100円必要)

【準備するもの】 毎回、お子さんに必要なもの(オムツ・飲み物等)はご家庭でご準備下さい。

0歳児(ねんねする子)はバスタオルをご持参されると良いと思います。

※貴重品等 unnecessaryなものは持ってこないようお願いします。

※天候や園の活動等により、予定は変更されることもありますのでご了承下さい。

※安全に楽しく遊べるよう、子どもさんからは目を離さないようお願いします。

※駐車場が限られていますので、来園はなるべく徒歩または自転車をお願いします。

車の方で、在園児さんのいる方は、「栗林床屋前駐車場」へ停めてください。

大型店舗や路上への駐車はできません。

※夏の間の水あそびに参加する方は、水あそび用オムツまたはパンツ等の準備して下さい。

☆平成29年度の行事予定です。

◎ 8月26日(土) 夕涼み会 午後5時半から

となりのお寺(普仙寺)境内にて踊ったり夜店を楽しみます。

◎ 10月14日(土) 運動会 (神野埠頭の公園にて)

親子種目(11:30前後)に参加した後で風船やおみやげをお渡します。

◎ 11月11日(土) 明照まつり 10時~12時頃

◎ 12月9日(土)~10日(日) 作品展 9時~15時頃

テーマを決めて園児の作品や絵を飾ります。

◎ 2月25日(日) ゆうぎ会 9時~15時頃

となりの牟呂小学校体育館にて行います。



## 地域貢献活動

## 子ども食堂「おとないさん」

## 「無料学習支援」

本園では以前より、障害児指定園として発達障害児等支援事業及び、児童クラブ内のフリースクールにて不登校児支援事業を行ってきました。  
さらに29年度より、地域貢献活動を行う理念のもと、「無料学習支援」及び「子ども食堂」事業を立ち上げ、豊橋市とも連携しながら取り組んでいく運びとなりました。

そして今回、これらの事業をすすめていくのにあたり、名古屋大学大学院教育発達科学研究科 永田雅子研究室と共同研究する機会を得ました。

今後の予定としましては、臨床心理士資格を持つ大学院生が、定期的に本園を来訪して、分析・研究を重ねていきます。

これまで同様、地域の小・中・高・大学とも連携しながら、乳幼児期から大人になるまでの切れ目のない健やかな成長を見守るために、地域の実情やニーズに見合う方法等を模索しつつ、柔軟に対応出来る体制を築いていきたいと思ひます。

つきましては、当面の計画として別記のような形で行っていきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 子ども食堂 おとないさん

- ★毎週水曜日 18:00頃～19:00頃 (木曜日は支援家庭限定)
- ★場所 明照保育園 2階プレイルーム
- ★費用 園児・学童家庭…保護者は500円、子ども250円  
支援を必要とする子どもと友達は無料、保護者300円
- ★参加方法 職員室にて申し込み(同じ週の月曜日までに)
- ★定員 1日約20名  
社会福祉法人 明照保育園  
園長 中島 章裕  
電話 0532-31-1419 Fax 0532-31-1499

## 水曜日の夜は

## 保育園で親子でたべよう!

- ★「保育園お迎え行ってからご飯作って片付けて…」あわただしい毎日の中で、週1回くらいはのんびりしてもいいのでは?
- ★「うちではなかなか食べてくれない…」なぜか保育園でみんなで食べると、バクバク食べちゃう子ども達!
- ★おしゃべりしながら一緒に食べませんか?

保育園の職員も加わりま〜す(´o`)´o`)

おとないさん

7月5日  
(水)

★ハンバーグ・フカロニサラダ・  
コンソメスープ&ライス★



★高野豆腐の卵とし・ササミと  
ごぼうのサラダ・味噌汁&ご飯



7月12日  
(水)

7月19日  
(水)

★筑前煮・ポテトサラダ・  
すまし汁&ご飯



★カレーライス・  
シーザーサラダ



7月26日  
(水)